



ほっかほか ひよこ組



早いもので、今年も残すところ後一ヶ月足らずとなりました。秋があつという間に過ぎて、肌寒い風を感じるようになってきました。季節を感じられる遊びを取り入れたり、お部屋の飾りや歌などでも雰囲気を楽しく感じられる様にしていきたいです。また、晴れた日には引き続き、靴を履いて屋上園庭や長久保公園で、ハイハイや歩行をして身体を動かしていきたいと思います。



手づかみ食べをたくさん練習し、遊びの中でも細かい動きができるようになってきました。スプーンを使用する目安は完了食ですが、その子の発達に合わせて進めています。中にはスプーンを使うよりも手づかみ食べを好む子もいます。その場合は同時に使うと混乱してしまうので、スプーンを置いてから手づかみ食べをすすめることや「スプーンかお手てどっちで食べる？」と声をかけて子どもに選んでもらって食事をすすめています。またスプーンを持っていて途中で嫌がったり、握り方がくずれたら無理なく手づかみに変える事もあります。そこで今月は、どのようにスプーンを導入し、どんなことに気を付けているかを紹介したいと思います。

子ども用のスプーンには、
太いグリップをつけて
握りやすいうようにしています。



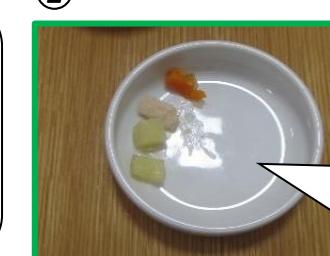
握る力が弱くても、
しっかりと握ることができます。

①



まずは一口量をスプーンに
乗せておき、自分でスプーン
を持って口に運んでみる事
から始めます。

②



スプーンを口に運ぶ
ことに慣れてきたら、
大人が一口量ずつ小
皿の左側に入れ、自分
でくって食べてみま
す。

握る・くすく・スプーンを真っすぐ口に運ぶこと
に慣れてきたら大皿から自分で食べてみます。
その時に食材をスプーンで 1 口量に切ること
を大人が支援しながら知らせています。



口の正面からスプーンが入るように大
人が肘を支えるなど、必要に応じた支
援をしています。

スプーンで上手にくすくには、両足をしっかり床につけ姿勢よく座れるか・手首はやわらかく動くか・肘が上がっているか…等、気に掛けるポイントがたくさんあります。スプーンを始めたばかりの子ども達、これらを一人で行うのはまだまだ難しい為、大人が工夫をし、その場に合った支援をすることで、子どもの「できた！」が増えることがあります。その子の成長に合わせて大人は支援をし、スマールステップで少しずつ出来ることを増やし、たくさん褒められて子どもたちのやる気も更にアップするよう、食事は楽しく取り組んでいます。遊びの中でも蓮華を使ってお手玉をくすく遊びや、わらべうたや手遊びを通して、肘をあげたりなど様々な方向から楽しみながらスプーンを使うためのアプローチをしています。少しくらい持ち方が違っても、口への入れ方が違っても大丈夫！否定せず、まずはやってみたことをたくさん褒め、徐々に正しい持ち方を知らせていくよう思っています。個人計画でスプーンの過程も細かくお伝えしていきますので、何かご不明な点がございましたらいつでもお声がけください(^▽^)/



一緒に食べるの楽しいね♪

完了食になると午後食の離乳食がおやつに変わります。初めはかじり取るのが難しく詰め込んでしまうこともありましたがその都度1口量を伝えたり、咀嚼を促しています。一対一で食べていた食事が次第に二対一になり、友達と一緒に食べる時間が増えてきています。一緒に食べることで、苦手に感じている食材も友達が食べているのを見て一口食べてみたり、牛乳を飲んでみようとするなど、影響を受けながら挑戦する姿も見られるようになりました。食事の際には「おいしい」のベビーサインと一緒にやって笑い合うなど「友達と一緒に食べるとおいしい！楽しい！」と子どもたちの表情から楽しい雰囲気がとても伝わってきます^ ^

最近では食事だけでなく、大人2人に対して子ども3人などで一緒に長久保公園に出始めていることもあります。お友達と一緒に出掛けることで、子ども同士で顔を見合わせてみたり、笑っている姿を見て一緒に笑ってみたり、泣いている子の顔を覗き込んで頭を撫でてあげたり…。自分や大人以外の存在に興味を持ち、意識する場面が見られています。また、友達と一緒に行動する中で「待つ」ことの練習もしています。毎日の積み重ねの中で楽しい集団生活が送れるよう心掛けています！！